

進路指導部だより



道しるべ

天王みどり学園 進路指導部

第141号

平成30年3月9日発行

蟻（あり）の思いも天に届く

教頭 根 義 鎮



私が筆を持ったのは小学校3年生の時でした。私の文字の下手さ加減に将来を心配したのかどうか、親は私をとある習字の塾に通わせました。初めてその塾へ行った時、その塾の先生は、上手であるはずのない私の書いた文字を見て、「上手だね、本当に良く書けている」と言ってくださったのを今でも憶えています。ほんのリップサービスであったとは思いますが、その時の私は、うれしさと同時に「俺って才能があるんでないの」と心の中で思いました。

それがきっかけで毎日1時間程度、ほぼ強制的に練習をしたという記憶があります。書くこと自体はそんなに嫌いではありませんでしたから、苦痛とは思いませんでした。そして、この生活が小学校いっぱい続きました。おかげで当時出品していた競書雑誌は順調に上がり、いつの間にか一番上の十段位を獲得、その他の書展でも結構良い成績をあげることができました。しかし、その時不満だったことは、身近に上手な同級生がいて、どうしても1番になれなかったことです。今考えると、それが励みになり現在でも続けることができたのかなと思っています。

中学生になり運動部に入ったため、書く時間は幾分減ったものの筆を持つという行為はほぼ継続しました。高校では書道部に入り、大学では書道を専門に学びました。そしてそれが私の職業となり、現在に至っています。高校の書道教員をしながら自分自身の研鑽を重ね、そのことが生徒への還元になると信じ頑張ってきました。そして、それなりに月日を重ねた結果、秋田県の展覧会はすべて卒業し、現在は審査員等をする立場となっています。

きっかけは単純なものですが、その後努力を続けたことが良かったと思います。自分自身としては、現在も大した才能も無いのに良くここまで来れたなと思っていますが、それは継続したから以外の何物でもありません。人の先頭に立つためには、周りの人も努力しているので、簡単にはそこから抜き出ることにはできません。運というものもあるかもしれません。しかし、そのスタート地点に立つためには継続した努力が必要になると思います。蟻（私）の思いも天に届くかな、そうなってくれればと思っています。

おめでとう10さい

二分の一成人式



2月23日(金)に4年生が『二分の一成人式』を行いました。生まれたときは赤ちゃんだった自分が10歳になったことや、いろいろなことができるようになったこと、家族の支えがあったことなどを学習し、家族に「ありがとう」を伝えようとみんなで準備を頑張りました。当日は校長先生から一人一人「二分の一成人証書」を受け取り、家族にお祝いしてもらうことができました。

式の後には『祝☆もちつきパーティー』
みんなで、臼と杵でおもちつきをしました。
「よいしょ～！よいしょ～！」10歳になっ
たみんなの力でついたおもちの美味し
かったこと！！来てくれた家族の皆さんも、子
もたちの成長を感じたことと思います。



同窓会入会式が行われました

3月6日(火)に高等部3年生の同窓会入会式が行われました。今年度は14期生13名が会員として加わり、同窓会会員は延べ、171名となりました。当日は、会長から挨拶や活動について話を聞き、同窓会への具体的なイメージをもつことができました。卒業後は全員で顔を合わせることが難しくなることが予想されます。この同窓会が集いの場となり、卒業後の生活の楽しみの一つになれば、と考えております。



～今年度の同窓会・青年学級を振り返って～

今年度は、同窓会での活動を3回、青年学級での活動を4回計画、実施しました。内容によって参加人数の差はありましたが、どの活動も、参加者からは「楽しかった」などの声が多く聞かれました。来年度も参加者が主体となり、楽しんで活動できる内容を考え、実施していきます。高等部3年生にも青年学級の開催をその都度お知らせしますので、卒業後の生活につながるよう、積極的に参加してみたいかがでしょうか。



同窓会
～成人を祝う会～



青年学級
～バーベキュー～



青年学級
～パソコン教室～